学校番号	３０２４

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「現代高等保健体育」改訂版　（大修館書店）						
副教材等	アクティブスポーツ２０２０総合版　（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目を学習することを通じて、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能や体力を高めるとともにリーダーシップとフォロワーシップの精神を養う。
・自分や他人の運動をよく観察、分析することで興味、関心を高め、運動の楽しさや喜びとともに達成感を体感しよう。
・体育授業を通して、「運動をする・見る・支える・調べる」といった関わりを学び、生涯に向けた自分に合ったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・心と体を一体して捉え、運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる習慣化する。
・自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート 等	レポート 体育理論のテスト 等	技能観察 ノート 等	ノート レポート 体育理論のテスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1学期</td><td>集団行動
体つくり運動</td><td>オリエンテーション
集団行動
ラジオ体操
体ほぐしの運動
新体力テスト</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>a:体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう体力の違いに配慮しようとすることや自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。
b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。
d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。</td><td>受講態度の観察</td></tr>
<tr><td>水泳(女子)・武道(男子)</td><td>水泳
クロール
背泳
武道(柔道)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">水泳
a:水泳の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わうことができるよう協力して取り組もうとするとともに競泳のルールを守り、公正な態度をとろうとする。また、水泳の事故防止に関する心得を守り、健康や安全を確保して練習や競技に取り組もうとする。
b:生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。
c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。
d:技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。
武道(柔道)
a:武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重し進んで練習や試合に取り組む。勝敗に対し公正な態度をとり禁じ手を使わないなど、安全を確保して、取り組もうとしている。
b:生涯にわたって柔道を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。
c:武道の特性に応じた攻防を展開するための得意技を身に付けている。
d:伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。</td><td>受講態度の観察
レポート
技能観察</td></tr>
<tr><td>2学期</td><td>器械体操(女子)・水泳(男子)</td><td>水泳
クロール
背泳ぎ
武道(柔道)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>受講態度の観察
レポート
技能観察</td></tr>
</table>

2学期	陸上競技 器械体操 球技	陸上競技 短距離・障害種目 跳躍種目 器械体操 接転技・ほん転技 演技構成 球技(ゴール型) バスケットボール ハンドボール サッカー ダンス		○	○	○	陸上競技・器械運動 a: 各種目の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わうことができるよう互いに協力して練習や競技に取り組もうとし、勝敗に対し公正な態度を示そうとする。マナーやルールを大切にし、体の調子や活動場所の安全に留意して自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたり各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につける。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。 球技 a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にする自己責任を果たそうとする、作戦の話合いに貢献しようとするなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとする。 b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:球技の特性に応じてゲーム展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 レポート 技能観察
	体育理論	運動スポーツの文化的特徴 ・人間にとって「動く」とは何か ・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ ・オリンピックと国際理解 ・現代社会とスポーツ ・スポーツと経済 ・ドーピングとスポーツ倫理	○	○		○	a:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について関心をもち、進んでスポーツに関わって学習しようと取り組み、実践に活かそうとしている。 b:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、必要な情報を比較したり分析したり整理して説明できる。 d:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴を知り、生涯どのように関わればよいかを知っている。	受講態度の観察 レポート 体育理論のテスト

3学期	陸上競技	陸上競技 長距離走 マラソン大会 武道(柔道)	○	○	○	○	a: 陸上競技の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わうことができるよう互いに協力して練習や競技に取り組もうとし、勝敗に対し公正な態度を示そうとする。体の調子や活動場所の安全に留意して自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:長距離走の特性を理解し、特徴的なフォームの習得やペース配分ができ、記録を高めたりすることができる。 d:長距離走の特性や技術構造を理解し、自己の課題解決のための練習方法や学習の進め方について具体的に言ったり、書き出したりできる。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。